

第5回 熊野川懇談会

会議資料 1

第4回懇談会の審議内容

第4回 熊野川懇談会の概要

◆ 開催日・場所

- 日 時：平成18年3月4日(土)
- 場 所：新宮商工会議所 大ホール



■会場の様子

◆ 審議内容

1. 経過報告・新任委員紹介

補充委員選考会(平成17年8月20日開催)、課題検討会(同)、語る会(平成17年10月～平成18年1月)等の経緯およびその内容が報告されました。また、竹中委員の後任として選考された古田委員の経歴の報告と自己紹介が行なわれました。

2. 語る会での話題について

流域内の6箇所で開催された「語る会」での話題が紹介されました。提供された話題については、各会場ごとに作成した議事録を一冊にまとめ、「熊野川を語る会 議事録集」として閲覧資料に加える外、ホームページで公開されることとなりました。

3. 熊野川の治水

河川管理者(紀南河川国道事務所)から熊野川の治水についての説明が行なわれ、その内容について質疑応答が行なわれました。委員から河川管理者への主な質問は以下の通りです。

- ① 雨量の大小と流量の大小の関係について説明してほしい。(※)
- ② 市田川と相野谷川で流量算定式が異なる理由を教えてください。
- ③ ダムの洪水貯留の実態について解りやすく整理してほしい。(※)
- ④ 現在の流量はダムに助けられている。この計画流量でよいのか整理してほしい。
- ⑤ 十津川流域と北山川流域で堆砂量に差が見られるが、この差についての見解を聞きたい。
- ⑥ ダム竣工からの経過年数と堆砂量の関係について猿谷ダムを含め整理してほしい。(※)
- ⑦ 明治22年の十津川大水害に対する河川管理者としての見解を教えてください。洪水の歴史を科学的に検討することも必要ではないか。
- ⑧ 年平均降雨量について、地球温暖化の観点で検証したい。地域単位と流域全体での降雨量の経年変化はどのようなものか。(※)
- ⑨ 治水面の検討には数値データだけでなく、自然の保水力や環境など、数値として表現できないものも重要ではないか。

(※：今回、回答あり 会議資料2参照)

4. その他

(今後の進め方)

専門的な事項を検討するための部会の設置や設立時期についての提案が行なわれました。また、各委員は収集データの解析法等について、河川管理者に意見を述べるよう要請されました。